

平成29年度学校評価総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度の課題と 今後の改善方法
		評価指標と活動計画	評価		
1 学校運営の充実	(全体レベル) (1)教職員研修の充実を図ることで教職員の資質向上に努め、学校全体の教育力を向上させる。 (2)教職員間の更なるコンプライアンス意識の向上に努める。 (3)広報活動を充実させ、地域に根ざした開かれた学校づくりの広報を積極的に行う。 (下位組織レベル) ①各種教職員研修の充実 ①協働精神に満ちた教職員の組織づくり ②教職員間の情報活用能力と情報モラルの育成 ②教職員のコンプライアンス意識の徹底 ③学校開放・公開，地域貢献ボランティア活動やホームページの充実，学校行事の公開等，積極的な情報発信の推進	評価指標 ①-1 各種教職員研修の実施 【各学期3回以上】 ①-2 情報セキュリティに関する規約の遵守並びに教員組織としての意思統一を図る。 【セキュリティ研修：年3回以上】	評価指標の達成度 	評価 評定 総合評価	(所 見)
		②-1 風通しの良い職場環境度合いを図るアンケートの実施 【充実度：90%以上】 ②-2 コンプライアンス意識の向上割合 【向上率：85%以上】			
		③-1 学校ホームページの更新並びにアクセス数の増加 【年間1万件以上】 ③-2 体験入学における中学生の満足度の向上 (保護者を含む)			
		活動計画 ①-1 教職員の資質向上のための研修会を実施する。 ①-2 コンピュータ・メインの共有フォルダを活用し、校務の効率化を図る。 ①-3 「報告・連絡・相談」の徹底を図り、教職員間の共通理解を深める。 ②-1 時期をとらえ、継続的な研修を実施することでコンプライアンス意識の徹底を図る。 ②-2 情報セキュリティポリシーを遵守し、情報漏洩防止の徹底を図る。 ③-1 保護者や地域に本校の特色や学習活動などを積極的かつリアルタイムに情報発信できるようホームページの更新・充実を図る。 ③-2 体験入学において、本校の特色ある学習内容に関する講座を開設実施する。	活動計画の実施状況 		

【備考】評価における「評定」の基準】 A：100%達成 B：80%以上達成 C：80%未満～70%以上達成 D：70%未満～60%以上達成 E：60%未満達成

平成29年度学校評価総括評価表

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度の課題と 今後の改善方法
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
		評価指標	評価指標の達成度	評定	総合評価
2 確かな学力の育成	(全体レベル) (1)基礎基本の定着を図り、自己教育力を高める。 (2)個性の伸張を図り、専門的な知識や技術を習得させる中でスペシャリストを育成を図る。 (下位組織レベル) ①基礎学力の向上に向けた取り組み ②学校関係者評価アンケートの実施 ③図書室の活用率の向上 ④各種資格取得の奨励と補習体制の構築による合格率の向上	①-1 基礎学力の定着 小テストで、クラス平均点の上昇 【2,3年生4クラスでの達成】 ①-2 基礎学力の定着 【小テストで、年間成績優秀者延べ45名以上】 ①-3 図書室だよりの発行 【年間3回以上】 ①-4 読み聞かせ会の実施 【年間3回以上】			(所 見)
		② 資格取得 【造園技能検定3級, 合格率75%】 【園芸装飾検定3級, 合格率75%】 【漢字検定, 合格率75%】			
		活動計画	活動計画の実施状況		
		①-1 ホームルームの時間の活用など、教科以外での学習時間を確保する。 ①-2 学年に応じた学習への動機付けを工夫するなど、モチベーションの維持に努める。 ①-3 購入図書のご案内を定期的に行うなど、図書館だよりの発行により読書への意識づけに努める。 ①-4 図書委員会を中心として、学期に1回程度の読み聞かせを行うなかで読書活動を推進する。 ②-1 検定試験では、合格率の向上を目指し、教科指導や時間外授業を活用する。 ②-2 担当教員を配置し、進捗状況を農場長が把握する。 ②-3 産学官連携事業で講師を依頼し積極的に体験型学習を推進していく。 ②-4 資格が将来の仕事や日常生活などにおいて役立つことを認識させる。			

【備考】評価における「評定」の基準】 A：100%達成 B：80%以上達成 C：80%未満～70%以上達成 D：70%未満～60%以上達成 E：60%未満達成

平成29年度学校評価総括評価表

自 己 評 価			評 価		学校関係者評価	次年度の課題と今後の改善方法
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学校関係者の意見	
		評価指標	評価指標の達成度	評定	総合評価	
3 安心・安全の観点に立った学校教育の推進	(全体レベル) (1) 基本的な生活習慣を確立を図り、規範意識や道徳心を高める生徒指導を推進する。 (2) 特別支援教育を推進し、個々に応じた支援を行う。 (3) 食の安心・安全の観点からのGAP教育を推進する。	①-1 頭髪・服装検査の実施並びに違反者への改善指導の実施 【違反者率：5%未満】 ①-2 全校集会の実施 【各学期 2回以上】 ①-3 SNSの使用並びに公共機関利用におけるマナーアップ指導の実施 【年間 3回以上】 ①-4 神農クラブによる挨拶運動の実施 【各学期に1回以上】				
		②-1 担任、特別支援教育コーディネータが協力して、教育相談体制を整える。 ②-2 教職員の特別支援教育に関する知識・意識の向上を図る。 【理解度・満足度 80%以上】				
		③-1 GAP基準に基づき、スダチ栽培の点検や評価を実施 【点検・評価 年間：1回以上】 ③-2 GAP教育の授業展開の実施 【各学期 1回以上】				
	(下位組織レベル) ① 基本的な生活習慣の確立 ① よりよく生きるための資質を育成（道徳教育） ② 特別支援体制の確立及び関係機関との連携推進 ③ 適切な農薬散布の実施や農場整備	活動計画 ①-1 毎月20日の校門指導を実施し、生徒の指導に役立てる。 ①-2 状況に応じて全校集会を実施し、全職員で支援、指導を行う。 ②-1 教育相談に使える場所を作り、生徒が気軽に相談できるような環境を整える。 ②-2 研修会で学んだことをもとに、教職員間で共通理解を図って支援が必要な生徒に対応する。 ③ 農場の整備や農薬管理の徹底、スダチの栽培技術など改善していく。	活動計画の実施状況			

【備考】評価における「評定」の基準】 A：100%達成 B：80%以上達成 C：80%未満～70%以上達成 D：70%未満～60%以上達成 E：60%未満達成

平成29年度学校評価総括評価表

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度の課題と 今後の改善方法
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見	
		評価指標	評価指標の達成度	評定	総合評価
4 キャリア教育の充 実	(全体レベル) (1)インターンシップを取り入れ、 望ましい職業観・勤労観の育成 を図るとともに自らの将来設計 の構築に努める。 (2)進路情報の的確な提供による進 路指導の充実を図る。 (3)関係機関等との連携による進路 先の確保並びに指導体制の充実 に努める。 (下位組織レベル) ①望ましい勤労観・職業観の育成の ためガイダンス・進路相談等の充 実 ②生徒理解を深め個に応じたき め細やかな進路指導の徹底 ③個々の希望に応じた進路開拓 の推進 ③支援を必要とする生徒への進 路決定に向けての対応	①-1 進路説明会を各学年で適期に 実施する。【各学年 1回以上】 ①-2 入学時から自分の進路に関す る目的意識を持たせる。 【長期欠席者 8%以下】 ----- ②-1 オープンスクールや企業に関する情報 を生徒に周知する。 【オープンスクール参加率：90%以上】 ②-2 個別指導の徹底や出題問題の 提供などを積極的に行う。 【過去問等の情報提供：100%】 ----- ③-1 個人面談・三者面談を効果的 に実施する。 【面談実施率：100%】 ③-2 会社訪問や学校説明会への参 加を積極的に実施する。 【希望企業への訪問：5回以上】 ③-3 生徒の状況に応じた進路指導 を実践する。 【関係機関との連携：90%以上】			
		活動計画	活動計画の実施状況		
		①-1 進路説明会や三者面談を適宜 実施する。 ①-2 教職員組織の連携を強化する。 ----- ②-1 進路情報の提供を徹底する。 ②-2 補習体制を充実させる。 ----- ③-1 個人・三者面談による意思確 認を積極的に行う。 ③-2 職場見学やインターンシップについ ても積極的に取り入れる。 ③-3 ハローワークと連携してより生徒の 要請や適性に応じた進路開拓 を実施する。 ③-4 特別支援を必要とする生徒に 対して、専門機関と連携した指 導をする。 【専門機関との連携（職員研修 を含む）：年1回以上】			

【備考】評価における「評定」の基準】 A：100%達成 B：80%以上達成 C：80%未満～70%以上達成 D：70%未満～60%以上達成 E：60%未満達成

平成29年度学校評価総括評価表

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度の課題と 今後の改善方法
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見	
		評価指標	評価指標の達成度	評定	
5 特色ある教育活動の推進	(全体レベル)	①-1 神山つなぐ公社との連携を積極的に行う。 【三学期で5回以上】			
		①-2 神山サテライトオフィス(加盟企業)との連携を積極的に行う。 【三学期で5回以上】			
	①-3 NPOグリーンバレーとの連携を積極的に行う。 【三学期で3回以上】				
	①-4 中央森林組合との連携を積極的に行う。 【三学期で3回以上】				
①-5 小・中学校との連携を積極的に行う。 【三学期で3回以上】					
①-6 神山町役場との連携を積極的に行う。 【三学期で3回以上】					
		②-1 ゴミゼロキャンペーンやアドプト事業の実施 【各クラス年間 2回以上】			
		②-2 バス停清掃の実施 【各クラス年間 2回以上】			
		③-3 希少植物の保護活動 【年間 2回以上】			
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	①地域活性化に向け、専門教育を生かした地域貢献活動	①-1 孫の手プロジェクトにおいて依頼者満足度を向上させる。			
	②自然保護の視点に立った地域に根ざした環境整備活動及び環境保護活の推進	①-2 フードハブプロジェクトでは生産純利益を1万円以上とする。			
		①-3 集合住宅プロジェクトでの苗木生産率を80%以上まで上げる。			
		①-4 古民家改修プロジェクトでは計画通り年度内の完成を目指す。			
		①-5 神山国際交流プロジェクトにおいて参加生徒を2名以上選出する。			
		①-6 林業担い手育成事業の充実により関連産業への就職者を1名以上設ける。			
		①-7 産学連携ものづくり事業において3カ所以上の連携・3品以上開発を目指す。			
		①-8 各事業並びにプロジェクトの報告会を1回以上実施する。			
		②-1 専門教育を通じたボランティア活動を年間2回以上実施する。			

【備考】評価における「評定」の基準】 A：100%達成 B：80%以上達成 C：80%未満～70%以上達成 D：70%未満～60%以上達成 E：60%未満達成

平成29年度学校評価総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度の課題と 今後の改善方法
		評価指標と活動計画	評価指標の達成度	評価 総合評価		
6 防災・環境教育 の推進	(全体レベル) (1)安全な生活空間づくり・防災意識の高揚を図る。 (2)学校版環境ISO認定校として実践を推進する。	評価指標 ①-1 避難消火訓練の実施 【地元消防署との合同訓練 1回以上】 ①-2 災害に対する避難訓練の実施 【年間 3回以上】 ①-3 防災クラブの活動 【地域・連携による活動1回以上】 ①-4 高校生の防災士の育成 【防災士合格者 1名以上】		評価 総合評価		
		②-1 教職員の地域の清掃活動への積極的な参加を促す。 【年間 3回以上】 ②-2 教室美化コンテストを実施 【各学期 3回以上】 ②-3 鮎喰川の水生生物調査を実施 【年間 1回以上】				
	(下位組織レベル) ①安全教育の充実 ①効果的な防災教育の計画・実践 ①有効適切な防災避難訓練の企画と展開 ②節電・節水・ゴミの分別の徹底 ②校内の美化 ②環境調査の実施	活動計画 ①-1 台風時期・積雪時期に事前備蓄点検を実施 ①-2 学校防災計画に準じた避難訓練を実施,計画の不備が発見次第,早急に改善する。 ①-3 地域・防災クラブが連携し炊きだし体験を実施する。 ①-4 A E Dを使った心肺蘇生の研修を生徒・教職員に実施する。				
		②-1 各教室に節電に係わる啓発チラシを掲示,節電に心がける。 ②-2 校内教室美化コンテストを実施し,教室環境を整える。				

【備考】評価における「評定」の基準】 A：100%達成 B：80%以上達成 C：80%未満～70%以上達成 D：70%未満～60%以上達成 E：60%未満達成